

# なごみ

平成二十四年 十月 81号

題字 周防和衛

## 「宝塚ちどり 生け花サークル」

華道・真養未生流 教授 廣山斎喜理子

平成十九年、生け花教室の友人（楠田さん）と、野に咲く草花を見て「生け花にしたら、きれいだね」という会話をしたことが、宝塚ちどりで生け花サークルを開催するようになったきっかけです。

これまで、福祉施設で高齢者に生け花を指導した経験もなく、「うまく指導できるのか」不安な気持ちでいっぱいでしたが、友人の協力もあり、自らの新しい挑戦

として、月二回のボランティア活動を引き受けることになりました。

こうして、ご利用者十名とスタッフ三名で生け花教室



がスタートしました。当初は「流儀の基本に忠実に指導しよう」と考えていましたが、ご利用者が楽しそうに花を活ける様子を見て、考え方が変わりました。ご利用者のみなさんが一人ひとり、自由な発想で活けた花がとても素敵だったからです。ですから、宝塚ちどりでは流儀に一切こだわらず、できるだけ手直しをしないよう努めています。

生け花サークルを初めてから私自身、生け花に対する視野が広がったことは大きな収穫で、いつもあつという間に二時間が

経ちます。毎回、五百円の予算内で材料を用意するのはなかなか難しいので、材料に困ったときには近くの山や河川敷に行き、野生



の草花や木々を調達するようになりました。準備した季節折々の草花を見て、ご利用者が「もう春だね」「優しい感じがするかわいいい花だね」とうれしそうにお話されると、集めた甲斐があったなあと思ひもひとしおです。年末に松を用意したときには「♪もう幾つ寝るとお正月♪」と歌われ、思わず一緒に口ずさんだこともあります。最近では、ご利用者の喜ぶお顔が見たくて、花の仕入れも季節感のあるものを選ぶようにしています。

現在、生け花サークルには十八名が参加され、スタッフも四名に増えて、毎回到ぎやかな時間を過ごしています。ご利用者のあふれる笑顔を励みに、これからも継続していく所存です。末永くよろしくお願ひします。（本名：磯脇キリ子）



## 【ユニット報告】

### ■鶴の荘・亀井荘

九月に三回の外食レクリエーションを実施しました。

【一日目（二十一日）】  
回転寿司のスシローへ行きました。久々の外食と言うことで皆様大変喜ばれ、たくさん召し上がりました。



【二日目（二十二日）】神戸屋レストランへ行きました。ご自分でメニューを見て選ばれ、ハンバーグやシチュー等を「こっちの方がおいしいわ」と喜ばれて召し上がりました。また、店員の方がパンを持って回ってくる、と、ご自分で食べたいパンを選ばれ、たくさんお替りをされていました。

【三日目（二十七日）】イオンモール伊丹昆陽へ行きました。  
フードコートでは親子丼とアイスクリームを美味しく召し上がりました。食後にはウィンドウショッピングを楽しみました。

今回、久しぶ

りに外食レクリエーションを行い、参加されたご利用者に大好評でした。季節も秋になり、外出するのちょうどいい気候になりましたので、十一月もまた楽しい外食レクリエーションを企画しています。



### ■ふじが丘・すみれが丘

（長濱）

九月二十八日におやつレクリエーションで「ベビーカーステラ」を作りました。作ることができるご利用者には、軽作業を手伝って頂きました。



焼き上がったベビーカーステラは、ご利用者と一緒にトッピングして完成です。リビングは甘い香りに包まれて、出来たてほやほやのベビーカー

ステラを口いっぱいにはおぼり、楽しい時間を過ごされました。（岡村）

### ■デイサービス

十月十一日に、毎年恒例のデイサービス大運動会を開催しました。

準備体操をした後、選手宣誓でフェアプレーを誓い、紅組と白組に分かれ、玉入れやおにぎりせんべい食い競争、借り物競争をしました。

普段は物静かで、穏やかに過ごされている方も、この日ばかりは、一生懸命競技に参加してくださり、白熱した運動会になりました。

また、十月十二日に、屋上で栽培しているサツマイモを掘りに行きました。後日、芋ようかんにしておやつで提供したいと思います。（森本）



## 【委員会報告】

### ■給食感染症衛生委員会

給食委員会では、行事食の今後の予定や、食事アンケート調査の精査を行いました。食事の温度に対するのご意見が多く寄せられたため、ご利用者一人一人に合った温度で食事を提供できるよう、心がけたいと思います。また、十月の行事食として出張「串カツ屋台」を実施しました。普段あまり食する機会のない揚げたて熱々の串カツは、皆さんに大変喜ばれました。

感染症委員会では、宝塚ちどりで有効に活用出来る感染症マニュアルの再編について進捗状況の報告を行いました。

感染症は予防することが最善策ですが、万一発生した際にはスムーズ



に対応できるように、年間を通じて、職員全員に周知を図ります。(鍛冶)

### ■地域交流・広報委員会

地域交流委員会では平成二十五年一月に開講予定の、ボランティア育成講習会「ちどり介護塾」について、委員会メンバーに説明を行いました。(「ちどり介護塾」は中山ちどりと合同で実施しており、既に中山ちどりでは五月に開講済み)

第一回目は「外出介助」の講習会を行う予定です。主に地域の皆様から講習会の参加者を募

り、外出の意義や、車椅子の介助など、外出に関する講義や、職員と共に外出レクリエーションを経験して頂く予定です。職員は講義をするこ



とで、事前の学習に努め、スキルアップをしていきたいと考えています。また、施設内の掲示板ですが、今後定期的に本紙「なごみ」、レクリエーションの風景、その他のお知らせなどを更新していく予定です(岡村)

### ■研修委員会

九月十二日(水)に、平成二十四年度後半の研修計画を再検討しました。研修内容として、十月は事故報告やヒヤリハット報告の事例を検討し、事故防止への意識を高めていきます。

また、十月二十一日・十一月二十五日には、研修委員が宝塚西消防署にて心肺蘇生法・AED研修を受講します。さらに、認知症に関する研修・看取り介護に関する研修も予定しています。



今後、ご利用者により良いケアを提供できるよう研修の内容を検討していききたいと思います。(都崎)

### ■サービス向上委員会

九月十九日にカラオケ喫茶を開催しました。

デイサービス・グループホームのご利用者も含め、約四十名の方々にご参加いただき、終始和気あいあいとした雰囲気を楽しまれました。

中にはお酒が目当てで参加される方もおられ、「あゝ、美味しい!」と、ほんのり顔を赤くされていました。

また、平成二十四年度サービスマン満足



度調査実施についてのご案内とアンケート用紙を同封しましたので、内容をご確認の上、ご記入いただきましたことと申します。皆様からの率直なご意見をお待ちしています。(市枝)

### ■事故防止委員会

九月二十五日に、十月開催予定の事故防止委員会主催の内部研修について協議しました。

事故・ヒヤリハットの事例を、スタッフが実際に再現し、その中で危険と思われる箇所をグループワークで協議し、報告書を作成します。



グループで話し合うことで、一人では気づかない点も見えてきますので、事故の要因や対策など多角的にとら

え、気づきの意識の向上につながると考えます。(米澤)

### ■介護技術講習会のご案内

平成二十四年十一月十一日に「介護技術講習会」、平成二十五年一月に「認知症研修会」、三月に「介護技術講習会」の開催を予定しています。

受講料は無料で、主に地域の方が対象です。現在、ご自宅で介護をされている方、介護に興味があり、学びたい方ならどなたでも参加可能です。詳細などご質問がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。担当(笹尾・森本・岡村)

### ■末成コミュニティ運動会に参加

十月七日(日)に、末成小学校運動場で行われた、末成コミュニティ主催の運動会に、ご利用者四名をご案内しました。地域の子供たちが



元気に走っている姿をみて、「かわいいね」「がんばりやう」と声援を送られました。

近隣で開催される催しには積極的に参加し、ご利用者が地域の一員

として暮らしている事を実感して頂けるよう努めてまいります。(森本)

### ■国家試験合格目指して奮闘中

現在、宝塚ちどりで就労研修を行っているインドネシア人介護福祉士候補者二名が、平成二十五年一月に介護福祉士国家試験を受験します。

日頃から業務に勉強に一生懸命取り組んでおります。また、多くのボランティアさんのご協力も得て、日本語の上達が見受けられます。体調管理にも注意し、合格できるよう支援していきます。(研修担当者 有田)

### 編集後記

樹木も色づき始め、朝晩が冷えるようになりました。インドネシアでは雨季に入るとの事です。(和巻)

